







## AUTOBASE PLUS SEC ARGENTUM (SEC 1111) オートベース プラス SEC アーゼンタム (SEC 1111)

アーゼンタムは金属調の光輝性をもったリデュースー希釈済みのアルミニウムベースコートです。  
金属調の光沢がある色やパーツの単体塗装に使用します。

使用できる被塗物	強制乾燥後のオートクリルプラス ブラック A140
主剤と副剤	オートベース プラス SEC アーゼンタム (SEC 1111)
貯蔵安定期間	オートベース プラス SEC アーゼンタム (SEC 1111)      20°C/6ヶ月
塗布可能面積	塗着効率70%,膜厚10 $\mu$ mと仮定すると主剤塗料 1リッターで7m <sup>2</sup> 。(理論値) 備考:実際の使用量については、被塗物の形状や塗装方法又は、塗装環境により異なります。
膜厚	1コート/3~5 $\mu$ m
器具の洗浄	使用後はシンナーX又は、ニュープラスリデュースーで速やかに洗浄してください。

## オートベース プラス SEC アージェンタム(SEC 1111) 使用方法

<p>混合比</p> 	<p>オートベース プラス SEC アージェンタム(SEC 1111)は単体で使用します。</p>		
<p>スプレー粘度</p> 	<p>20°C/14~16秒    DIN cup 4</p>		
<p>スプレーガン及び スプレー圧力</p> 	<p>スプレーガン</p> <p>上カップ 下カップ HVLP上カップ</p>	<p>ガン口径</p> <p>1.3-1.5mm 1.4-1.6mm 1.3-1.5mm</p>	<p>スプレー圧力</p> <p>2-3 bar 2-3 bar 最大0.7bar</p>
<p>スプレー方法及び フラッシュオフタイム</p> 	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. オートクリルプラス ブラックA140を塗装します。(t.i.s.5.2.49参照) (ホイール塗装には速乾システムを推奨します)</li> <li>2. オートクリルプラス ブラックA140を強制乾燥後にノンサンディングで アージェンタムを塗装します。</li> <li>3. オートクリルプラス ブラックA140をサンディングしないでください。</li> <li>4. オートクリルプラス乾燥後、被塗物が暖かい間(約40°C)又は30分以内に アージェンタムを3~4回シングルコート又は高輝性が出るまで塗装します。 各コート間のフラッシュオフタイムは4~8分です。</li> </ol> <p><b>注:</b>アージェンタムはウェットに塗り過ぎないでください。</p> <p><b>備考:</b>上記の方法により金属調の光沢を得ることができます。 薄膜メタリックのためサンディングサフェーサーに使用すると ペーパー目の原因、ノンサンディングサフェーサーに使用すると 肌荒れの原因になります。</p>		
<p>乾燥時間</p> 	<p>20°C/20分以降24時間以内に下記のクリヤーにて塗り重ねをすることができます。</p>		
<p>塗り重ね可能製品</p> 	<p>オートクリヤー プラスHS(t.i.s.5.2.64参照) オートクリヤー ラピッド(TDS.S1.05.04参照) オートクリヤー ファースト(t.i.s.5.2.06INS参照)</p>		